

## 心豊かで主体的に活動する生徒の育成 ～集団づくりと授業づくりの実践を通して～

### I 研究の内容

#### 1, 主題設定の理由と経過

本校では、「心豊かで主体的に活動する生徒の育成」という研究主題のもと、研究を進めてきた。甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「学級づくり・集団づくり」に着目し、QUアンケートを活用した実践を行うなど、各学級のより良い集団づくりに結びつき、学級集団としての質の向上を図ってきた。さらに一昨年度は、QUアンケートの活用を継続しながら、新たに甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「授業づくり・授業改善」にも注目し、「心豊かで主体的に活動する生徒の育成～集団づくりと授業づくりの実践を通して～」と副主題を改め、集団づくりと授業づくりの両面から研究を進め、学び合い支え合う学級集団を目指すことができた。

今年度は、この研究主題・副主題の継続研究3年目とし、「授業づくり」と「集団づくり」の両面から研究を深めてきた。次期学習指導要領の改訂に伴う移行に向けての取り組みを念頭に、各教科の特色を生かし、生徒同士が学び合う授業づくりを進めていくことで、集団として互いに関わり合い、学び合う力が高められるということを仮定し、本主題を設定して取り組んできた。

#### 2, 研究の具体的内容と方法

##### (1) 集団づくり

①QUアンケートを活用し、K13法を取り入れた支援法研究と実践

②塩北ライフの実践

- ・挨拶、授業規律、生活規律の徹底
- ・学級集団だけでなく、部活動や集会、行事を通して返事、挨拶の徹底
- ・その場に応じた言葉遣い
- ・日々の表現活動(スピーチ、掃除の反省会、生活記録ノート)

##### (2) 授業づくり

①甲州市ティーチャーズノートを活用した「見通し・振り返り」を大切にした授業の実践

- ・「めあて(目標)」「まとめ(振り返り)」というマグネットを活用し、全授業で同じ形態で授業を進めるよう工夫する。
- ・座席表に要支援の生徒が分かるような工夫をする。→少人数の学校なので校内研の中で全教職員が把握できるようにしていく。
- ・1時間の授業が黒板に収まるように板書計画をたてる。
- ・QUを取り入れた指導案を作成する。

②基礎学力の定着に向けての実践

- ・毎週行われる学力定着テスト(ランクアップテスト)、定期試験前の学習会(北斗タイム)の実施
- ・家庭学習への取り組み(毎日10分の「家庭学習スタンバイ」の時間を活用)
- ・読書活動の推進(朝読書、一斉読書の取り組み)
- ・夏休みの学習会の実施

- ・NRTの実施と活用
- ・各教科における取り組みの明確化・実践

### ③次期学習指導要領の移行準備

- ・各教科等における改訂の具体的な方向性の確認・理解

## II 成果と課題

### 1, 成果

研究主題と研究副主題を継承し、3年目の研究となった。昨年度までの反省を生かし、新たな工夫も取り入れて研究を進めることができた。

今年度も甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「学級づくり，集団づくり」に着目したQUアンケートの活用や甲州市ティーチャーズノートを活用した実践を行ってきた。全2回のQUアンケートの結果を全職員で分析し，アセスメントを共有し，きめ細かい指導に役立てることができた。全2回の研究授業では，QUアンケートの結果を取り入れるとともに，甲州市ティーチャーズノートを活用した実践が行われ，生徒同士の学びあいから，多くの成果が上がった。

昨年度から取り組んでいる「家庭学習スタンバイの時間」は，導入して2年目となり，この時間を有効に活用し，学習をスムーズに進められるようになるなど定着が見られた。さらに内容を充実させるため，互いのノートを見せ合ったり，各クラスで終わったノートを掲示したり，ノートが1冊終わるとシールを張って掲示したり，生徒の意欲を向上させる取り組みも行った。3年生では，受験に向けた取り組みとして独自にスタンプカードを作り，自分なりの自主学習を考えるなど各学年とも工夫や発展した取り組みとなった。その結果，生徒や保護者からも家庭学習の充実のために必要な取り組みであるという声も聞かれ，学校診断の家庭学習の項目でも数値として成果が表れてきていた。その反面，課題も見えてきたので来年度はさらに充実した取り組みを行うため，検討していきたい。

今年度は，さらに次期学習指導要領の移行準備として，夏季休業中に行われた教育課程説明会を受けて各教科全ての改訂の主なポイントを共有したり，改訂に向けた各教科の重点内容，解説などの資料で学習したりした。それぞれの教科で学習を深め，改訂に向けた準備を今後も行っていきたい。

### 2, 課題

今年度の研究の課題として，「学習の充実と定着」があげられる。

家庭学習の取り組みでは，昨年の実践を生かして，さらに発展的な取り組みを目指したが，2年目の課題も見えてきた。「取り組みは定着してきたが形式的になっていないか」「自分に今必要な学習は何か考え効果的に行えているか」などである。家庭学習の意義や目的を生徒と再確認し，自分にとって必要な取り組みであることを共有し，さらに内容を充実させたい。また，小規模校の特色を生かし，本校の実態に即したよりよい授業づくり，集団づくりを目指し，内容を検討して実践していきたい。

## III 成果物

### 研究授業学習指導案

- (1) 2年国語 単元名「作品全体を通して「えびフライ」が何を表すのかを考え，交流しよう」  
～文章の表現に着目し，根拠を明確にして自分の考えをまとめる力～
- (2) 2年音楽 題材名「我が国の伝統的な歌唱（長唄）の魅力に触れ，伝統的な声と歌い方を工夫して歌唱しよう」 歌唱・器楽教材 長唄「雨の季節より飴売り」